

村井ひでき通信 号外

内閣府大臣政務官を拝命して早2ヶ月が経ちました。政権の筆頭政務官として、緊張感を持って、経済財政政策や社会保障改革などの重要課題に当たっております。

今回の通信では、国政2期目・約3年間の村井ひできの活動について、写真を中心に振り返ります。改めて振り返ると、皆様の御支援のお陰様で、徐々に責任ある立場を任せられ、全力で国政の課題に取り組んだ3年間でした。今後も政策本位で、全身全霊、職務に精励して参ります！



➤ 小泉進次郎議員と「子育て支援」の抜本拡充を問題提起！

子育て世帯の支援は、待ったなしの課題です。核家族化が進み、共働き世帯が一般的になるなど、子育て環境は大きく変化しました。子育ての第一義的責任は勿論家族にあるとしても、もはや子育てを「家族任せ」にできる時代は終わりました。今こそ、社会全体で子育てを支える方向に、大きく舵を切るべき時です。

そして、**我が国最大の課題である少子化を食い止め、経済活性化・持続可能な社会保障を実現し、この国の閉塞感を打破していく。**その思いで、小泉進次郎議員と二人三脚で活動を続けてきました。



具体的な線引きの部分はこれから詰めていくべきところだと思っています

➤ 若手議員「メディア登場回数No.1」！

こうした活動は、メディアでも度々取り上げられ、私自身、当選回数2回以下のいわゆる若手議員の中で、メディア登場回数NO.1となりました。

右の挿絵は、2017年4月24日共同通信「小泉世代 台頭する覚悟～安倍一強の空気打ち破れるか～」より。左から村井ひでき、小泉議員、安倍総理。**政策決定過程において若手の存在感が高まっている**と評価されました。

また、村井ひでき個人としても、メディアを通じて情報発信する機会を多数頂きました。



➤ 内閣府大臣政務官として改革を実現へ！

我々の活動は、自民党を動かし、政策の方向性を変えることに成功しました。村井ひできや小泉議員の主張を実現するため、政府に「人生100年時代構想会議」が設置され、村井自身が、政権の筆頭政務官に任命され、運営に参加することになりました。

政治は変わらない。そう思っている方も多いと思います。しかし、私は、この3年間の活動を通じて、**政治は変えられる**と確信しました。徹底した子育て支援・少子化対策で明るい日本を創る。**改革は、あと一歩のところまで来ています。**



① 全力で政策立案

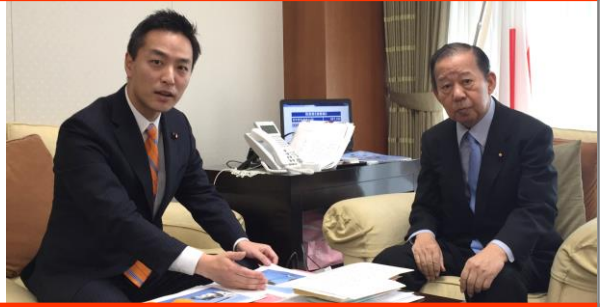
② メディアから注目を集める

③ 政権中枢へ

写真で見る 村井ひでき 国政2期目の活動

➤ 歴代最年少で副幹事長を経験

昨年度は、二階幹事長の下、副幹事長を務めました。副幹事長は、幹事長を補佐して、党内の幅広い懸案に取り組む若手の登竜门的ポジション。36歳(当時)での副幹事長は、中曽根康弘さんが61年前に37歳で経験して以来の歴代最年少でしたが、政策的にも政局的にも様々な仕事を経験させてもらいました。



➤ 持ち前の政策力と行動力で、幅広い分野で政策提言

2期目も政策本位で国政の諸課題に取り組みました。都市農業の推進に向けた税制改正、大企業の業績改善の恩恵を中小企業に繋げる下請事業者対策、医療事故の原因究明と再発防止のための医療事故調査制度の見直しなど、党内にある様々なプロジェクトチームの事務局長として、多数の政策を練り上げました。



➤ 国際経験を活かし、活動の幅は海外へ

この3年間は、岸田外務大臣(当時)に随行して東南アジアを訪問するなど、積極的に外国訪問を行いました。アウン・サン・スー・チーさん始め海外の首脳との面会を通じて、国際社会における我が国の立ち位置を再確認すると共に、外交現場の厳しさを学びました。



➤ 積極的な国会質問～最多5つの委員会に所属～

国会質問は、国会議員の基本。今年の通常国会では、自民党議員最多の5つの委員会(厚生労働委員会、財務金融委員会、憲法審査会等)に所属。積極的に質問を行いました。詳細は、国会会議録システムで、「村井英樹」と検索の上ご覧下さい。



➤ 家族が4人になりました！！

この3年間でプライベートも大きく変わりました。長男が2015年1月に生まれ、次男が今年6月に生まれました。長男は、予定日より1ヶ月も早く生まれ、当初は様々な心配もしましたが、ありがたいもので、今では元気に走り回っています。現在は、イヤイヤ期真っ盛りの2歳半の長男と、夜中も元気いっぱいな次男を前に改めて世の中のお父さん・お母さんの大変さを実感する日々を過ごしています。家族に感謝しつつ、子育て世代の代表として、引き続き国政に全力で取り組んで参ります。



【村井ひできミニプロフィール】

昭和55年さいたま市生まれ。37歳。家族:妻・長男(2歳)・次男(3ヶ月)。浦和市立別所小学校卒業。東京大学卒業後、財務省入省。ハーバード大学大学院修了。平成23年財務省退官(主税局参事官補佐)。平成24年12月第46回総選挙初当選(96,242票)。平成26年12月第47回総選挙再選(105,760票)。現職:内閣府大臣政務官、埼玉県野球協会会長、埼玉県サイクリング協会会長

【地元事務所】〒330-0061さいたま市浦和区常盤9-27-9 TEL048-711-3241 FAX048-711-3242 [平成29年9月号]

【国会事務所】〒100-8981千代田区永田町2-2-1衆議院議員会館I-911 TEL03-3508-7467 FAX03-3508-3297

《発行》自民党埼玉県第一選挙区支部(岩槻区・浦和区・緑区・見沼区) 住所:〒330-0061さいたま市浦和区常盤9-27-9 【討議資料】